

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和7年11月25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	勇建設株式会社
所 在 地	〒060-0006 北海道札幌市中央区北6条西14丁目4番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 坂 昭弘
担当者連絡先	電話: 011-221-0171 メール: ken-takane@isami-con.co.jp
ウェブサイトURL	<a href="http://www.isami-con.co.jp">http://www.isami-con.co.jp</a>

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和31年4月の創業以来、北海道内において総合建設業として事業活動を展開し、今日に至っています。「堅実な経営」と「誠実な施工」という経営理念のもと、北海道内の港湾、漁港などの海洋土木工事を中心とし、空港、道路、河川、橋梁、水道、農業などの土木工事を実施しています。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ICT化を推進して労働生産性を向上させ作業の効率化を図る	有給休暇取得率の向上 2021年度 50% 2030年度 80% プラス30%
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ゼロカーボン社会の実現に貢献するため、事業活動に伴うエネルギー消費量を抑制するとともに育樹、植樹、植栽等の環境活動を積極的に実施する。	排出されるCO <sub>2</sub> 排出量の削減（現場を除く） 2021年度 163,750kg 2030年度 131,000kg マイナス20%
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済		

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	就業規則にハラスメント防止規程を策定し、定期的にハラスメント研修を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	ICTを積極的に活用し、労働時間の短縮を図り、勤怠管理システムを活用し管理している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生委員会を毎月開催し、安全プロジェクトへの参加、安全衛生協力会、安全衛生委員会による定期安全パトロールを実施している。		3						8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	メンタルヘルスセミナーを開催し、年に一度ストレスチェックを実施している。		3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定と実施。北海道働き方改革推進企業認定（女性の活躍応援自主宣言）を受けている。			5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	業務に必要なスキル習得のため外部講習の受講、資格取得等の費用を会社で負担している。		4	5.5			8	9										
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康経営優良法人の認定、外部機関と連携をして健康相談、特定保健指導等を実施している。		3					8										
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	北海道グリーンビズ認定を受け、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処分の取組み、社内における事務用品の3Rを推進している。										11.6 12.4 12.5		14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	環境報告書を作成し、エネルギー使用量を把握、検証している。							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	電気、ガス使用量の削減などのオフィス活動における省エネの取組のほか、工事において環境配慮型建設機械の活用などの環境負荷の低減に総合的に取り組んでいる。					7.2 7.3					12.4 13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	有害化学物質のSDS（安全データシート）を用いたリスクアセスメントの実施により適切な取扱いをしている。		3.9			6.3				11.6 12.4								

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
15 16 17 18 19 20	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	施工検討会時に環境影響を評価し、現場で必要な環境保全対策を講じている。また、札幌市が提唱する生物多様性札幌応援宣言をしている。							6.6								15	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	無人化散水システム「養生ヘルパー」の開発・運用により散水量を適切に管理し、水資源に配慮している。						6.4	6.6									
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001認証取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ISO14001に基づき行った取り組みを環境報告書に取りまとめ毎年HPに公開している。												12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	作業所においてソーラーハウスの導入、ソーラーパネルの設置、日中の充電による夜間ソーラー式のバルーンライトの使用等推進している。							7.2					13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	グリーン購入法に基づき、事務用品のグリーン購入を推進している。												12.2	13	14	15	
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001の認定を受け、安全で良質な構造物を提供するシステムを構築している。			3.9									12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	良質な構造物を提供するため施工検討会を工事着工前に開催している。									9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	無人化散水システム「養生ヘルパー」の開発・運用により適切な散水量を適切に管理し、水資源に配慮している。					6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	工事施工により影響を受ける施工箇所周辺の住民と積極的にコミュニケーションを図り地域の声を施工に生かしている。				4					9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	事業所周辺の環境美化活動を行うほか、地域のイベント等に参加・協力、協賛等を行っている。フードバンクに定期的に食糧品を寄付している。				4							11			14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	社内インターネット、HPにおいて内部、外部への周知を行っている。									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	就業規則にコンプライアンス運用規程を定めている。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	総務部・安全品質環境部としている。																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	工事施工の影響を受ける地域住民、施設利用者等に説明を実施し意見、要望を聞き取り工事施工に反映させている。HPにおいて工事情報を公開している。															16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	施工検討会にて関係法令を特定し、法令違反や危険有害業務に関するリスクを洗い出し、対策を講じている。																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	CSR経営に掲げるコンプライアンス経営基本方針に基づいた企業経営を実施している。																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	勇建設BCP(事業継続計画)を策定し運用している。									9		11		13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	次世代の担い手育成として若手職員の教育と技術の伝承を行っている。									8	9						17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

#### 【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。